



高幡会だより

こころ 76 2023. 7



私達は、地域において必要とされる 病院・施設・事業所を目指します。



日本医療評価機構認定病院 大西病院 <http://www.oonishi-hp.or.jp/>

ひまわり



真夏の日差しの中、ひまわりが大きな花を咲かせていました。
ひまわりの花言葉は「私はあなただけを見つめる」「崇拜」「憧れる」「情熱」
「あなたを幸せにします」などです。一途で情熱的な花言葉が目立ちますが、
こういった花言葉は厳しい夏の暑さに負けずに、ひまわりが太陽に向かって元
気に咲きほこる様子に由来しているのだそう。

新型コロナウイルスは、2類感染症から5類感染症となり、少しずつ以前の生
活に戻りつつあります。われわれも一途な気持ちで希望と情熱をもって以前の
生活を取り戻したいものです。



みなさまにおかれましては、いよいよ激しい暑さに向かいます折り、炎天に
負けず盛夏を乗り切られますよう、心よりお祈り申し上げます。

個人防護用具（PPE）着脱訓練

【4月18日】

看護・介護・コメディカルスタッフを対象に個人防護用具（PPE）の着脱訓練を実施しました。



個人防護用具（PPE）は、隔離を必要とする病室で、患者と医療スタッフ、患者間の交差感染を防ぐために必要とされるもので、手袋、マスク、ガウン、ゴーグル、フェイスシールド、キャップ、シューズカバーなどがあり、単独または組み合わせて用いられます。

ただし、時間の経過とともに、その方法や手順が自己流になっている人がいます。適切な防護具の使用法と手順を理解していなければ、十分に身を守ることができないのみならず、病原体の運び屋となってしまう可能性もあります。そのため正しく着脱が出来ているか確認するために訓練を定期的に行っています。



これからも、PPEの正しい使用を徹底し、患者さまに安心して利用していただける施設になるように努めてまいります。

消防訓練

【5月29日】

昼間想定での消防訓練を実施しました。



四万十清流消防署隊員より

「避難は適切に行われたと思います。とりわけ入院患者さんや外来患者さんを避難させるのは大変かと思いますが、こうした訓練をこれからも継続して下さい」

院長より

「非難訓練は概ね良好に行われたと思います。

日頃から「日」回程度は火災が発生したらどうするかを考えて行動して下さい」

続いて消火器・消火栓の訓練を実施しました。



四万十清流消防署隊員より

「消火器は数十秒でなくなりますので、効果的な消火をすることが大切です。火に向けるのではなく下の火元を払う様に消火器を使います。また、室内で消火するときは常に自分の退路を意識して消火して下さい。いざという時に避難する方向がわからなくなることを防ぐため背中を常に退路に向けて消火します」

職員一同、これからも訓練を重ね、防災意識の向上に努めてまいります。
よろしく願い致します。

非常用備蓄食品調理訓練

【5月30日】

災害時の非常食献立表に基づいた備蓄食品の調理訓練を実施しました。これは、災害時に備蓄食品を有効活用するため、職員が調理を体験する事で、効率的かつ迅速に配食するためのスキルを身に付けることを目的とするものです。



調理したのは、「非常用保存食アルファ米炊き出しセットわかめごはん」で、お湯を入れて密封し15分経過すると一度に50人分のご飯ができます。



今回の訓練は災害訓練シナリオに則り、栄養科や厨房以外の職員も参加し、備蓄庫から食品・水を搬送し準備、調理、パック詰めして、配食するまでの一連の流れを確認しました。オブザーバーとして町内の岡田米穀店さんにも参加して頂きました。

		ひなた	サ高住ひ
患者・利用者	わかめ	17	17
	わかめ (訓練数)	3	3
	クリミール	0	0
	アインカルパック	0	0
職員	わかめ	2	2



常食のわかめごはんの他にペースト食、流動食も用意します。



総括・反省会の様子

訓練は概ねスムーズに進行しました。想定した時間内に調理・配食することができ、災害時の調理・配食に必要な人員、時間なども確認することができました。

当然のことながら、災害発生時はさまざまな問題が発生し、決してスムーズに行くことはないと思います。しかし、今回の訓練を通じて災害時の食事提供に関して職員の意識の向上が図れたことはよい機会になったと思います。

最後に試食した職員の感想を聞いたところ、

- 「味にそんな色はない。災害食なので味や食感を期待してなかったが、思いのほかおいしい」
- 「ほんわり暖かく普通のごはんと変わらない」
- 「非常用食と言われなければ分からないと思う」
- 「暖かいご飯を食べることが出来れば、災害時につかの間の心の安らぎを得ることができると思う」

など好評でした。

非常食もどんどん進化しており、“冷たくて固くておいしくないけれど仕方ない”といった過去のイメージを払拭してくれました。

食事は、患者様・利用者様の健康維持と心の安定を保つため、発災直後から欠かさず遅れず供給しなくてはなりません。高幡会ではこれからも、より実践的な訓練を重ね災害時の職員のスキル向上に努めて参ります。

ひなた便り



七月といえば七夕様ですね。
デイの利用者さんみんなと一緒に
それぞれの願いを込めて笹飾りを
作り飾りました。

願いが叶うと良いですね。



【7月10日】

南海トラフ地震想定の避難訓練をおこないました。



地震発生

「机の下に伏せて～」の大きな声に臨場感さながらの訓練になりました



避難後点呼を取り、全員の無事を
確認しました。

私と一緒に
慌てずに避難
しますよ～



皆さんお疲れさまでした



皆様からの「投稿」をお待ちしております。
病院へのご意見・ご質問、広報誌へのご感想
ご意見などをお寄せください。

〒786-0007
高知県高岡郡四万十町古市町6番12号
TEL.0880-22-1191 / FAX 0880-22-1250
✉ e-mail : info@oonishi-hp.or.jp

治療と栄養と生きる力を大切にする 大西病院の「食」の取り組み



- ・高知大学病院から、口腔外科の先生が週1回は来院して、口腔内の状態、飲み込みなどを評価しています。
- ・その評価を、リハビリのプランにも盛り込み、摂食・嚥下機能の訓練を実施しています。
- ・当院にはSTを配置しており、昼食時には必ず、ラウンドをしています。適切な補助具や食事姿勢のアドバイスなど、食べるための支援を行います。

入院時には、口から食べることができなかった患者さんが、その後の取り組みによりご自分で、食事ができるようになったケースもあります。

栄養状態を改善することは、治療やリハビリの成果にもつながり、食事は退院へ向けた心の支えにもなりますので、食を大切にしています。



大西病院は、食事が美味しいことも自慢です！是非、当院の食事で生きる力を蓄えていただきたいと思います！

医療法人高幡会 大西病院
高岡郡四万十町古市町6番12号
地域連携室 担当 津野

Tel : **0880-22-1191**